



Daiwa House®
大和ハウスグループ

大和ハウスグループの 森林破壊ゼロ方針について

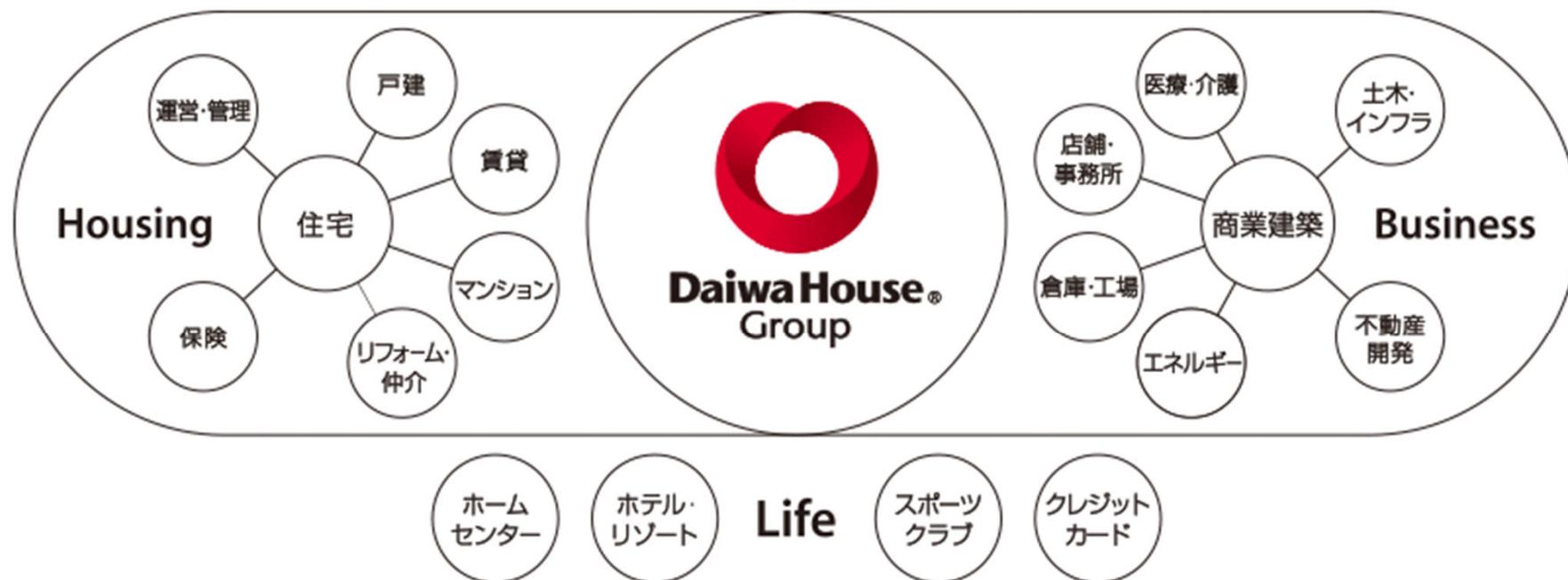
大和ハウス工業株式会社
環境部 祖父江伊吹



Daiwa House

Our business field

大和ハウスグループの事業領域



Housing				Business		Life	Global
							
<p>戸建住宅</p> <p>お客様のニーズにお応えする「賃貸住宅」と、高づくりを含めた仕業場をご提供する「分譲住宅」を開発。</p>	<p>賃貸住宅</p> <p>入居者さまには心地よい暮らしを、土地オーナーさまには安定収益を多角的にサポート。</p>	<p>マンション</p> <p>マンションの開発・分譲・管理し、独自のサポートシステムで資産価値を維持。</p>	<p>住宅ストック</p> <p>「住宅リフォーム」と、優良中古住宅の「仲介」で、社会資産である住宅ストックの継承を促進。</p>	<p>商業施設</p> <p>ショッピングセンターや各種専門店の開発・建設と管理・運営事業を開発。</p>	<p>事業施設</p> <p>物流施設、医療介護施設、法人施設の開発・建設事業を開発。</p>	<p>その他</p> <p>ホームセンターの運営、建設支援事業、健康水産事業、都市型ホテル事業など人・物・暮らしに関わる事業を幅広く展開。</p>	<p>海外事業</p> <p>海外事業は1960年代から開始し、近年では、アジアグループに注力し、そのシナジー効果を最大限に活かし、海外での事業展開を加速。</p>



創業者：石橋信夫（1921～2003年）

何をしたら儲かるかではなく、
どういう商品が、どういう事業が
世の中のためになるかを考える。

すべてはここから始まった

“日本列島に、森林を残せ”

戦後
復興期



1955年 パイプハウス（創業商品）

“21世紀は、「風・太陽・水」”

京都
議定書



1999年 大和エネルギー社設立

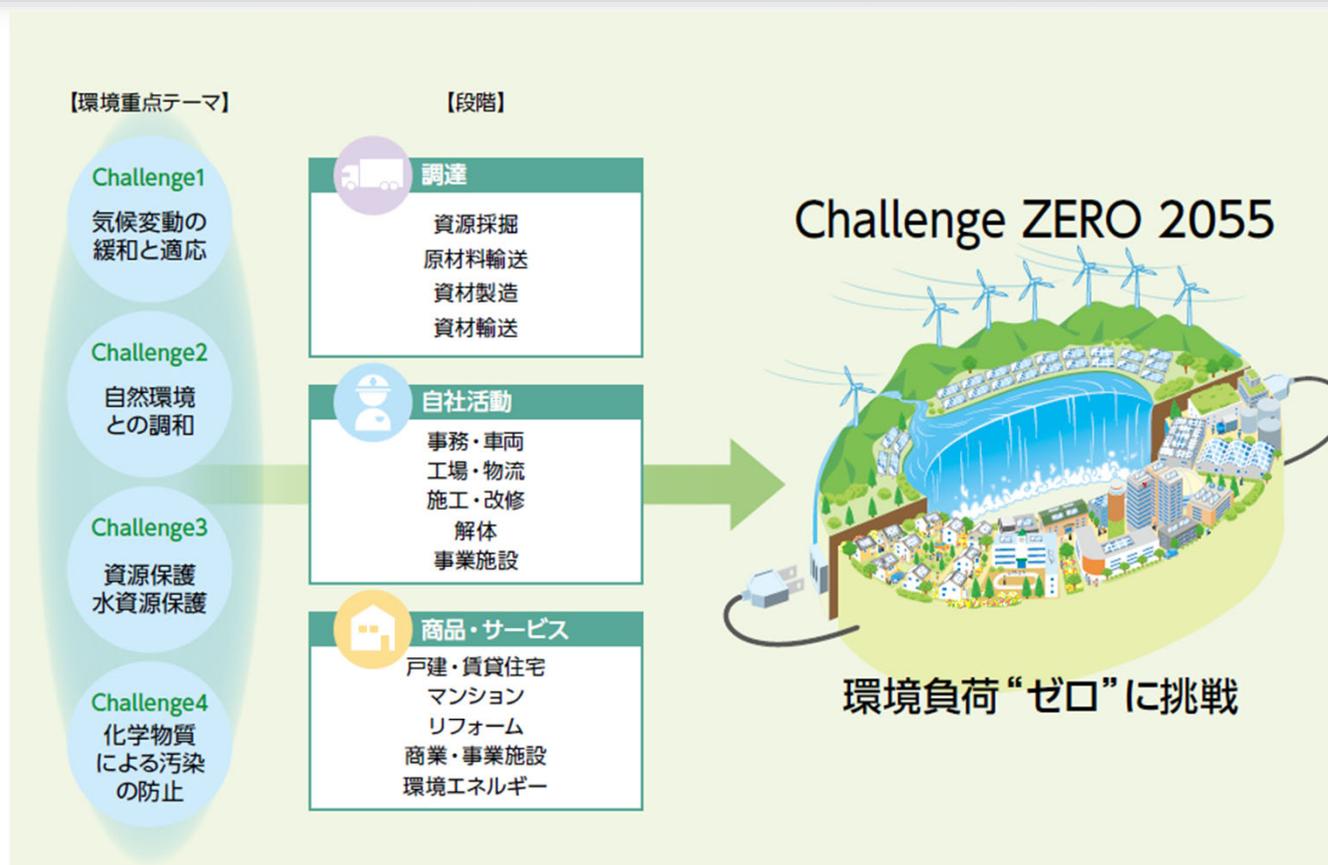
- ア 安全・安心
- ス スピード
ストック
- フ 福祉
- カ 環境
- ケ 健康
- ツ 通信
- ノ 農業

社会に役立つ
事業を通じて

売上高10兆円

の企業群へ

創業100周年
(2055年)



自然環境との調和 (生物多様性保全)

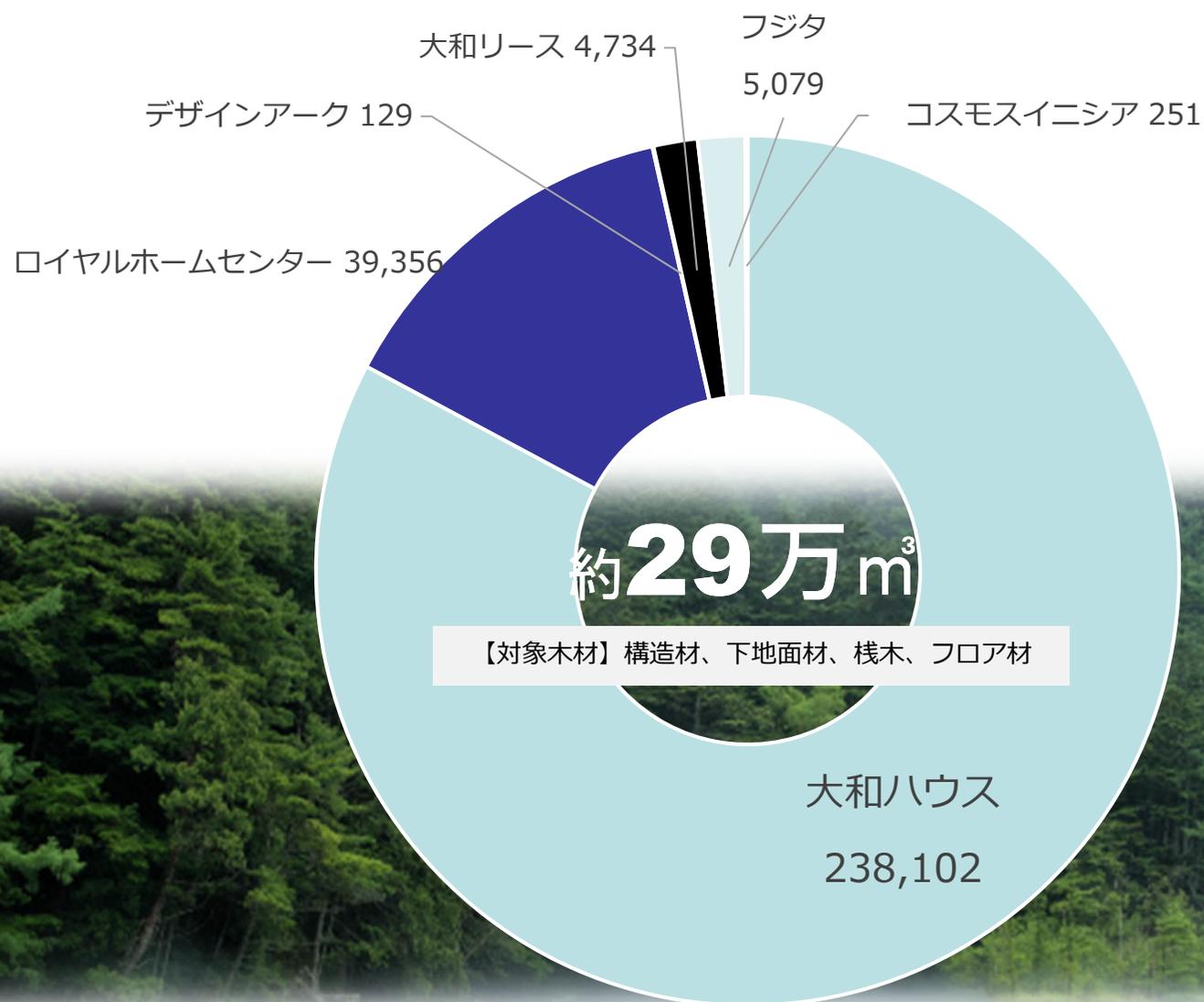
Challenge2 自然資本の保全・向上に向け、材料調達による森林破壊ゼロの実現と、緑あふれるまちづくりによる緑のノー・ネット・ロスを目指します。

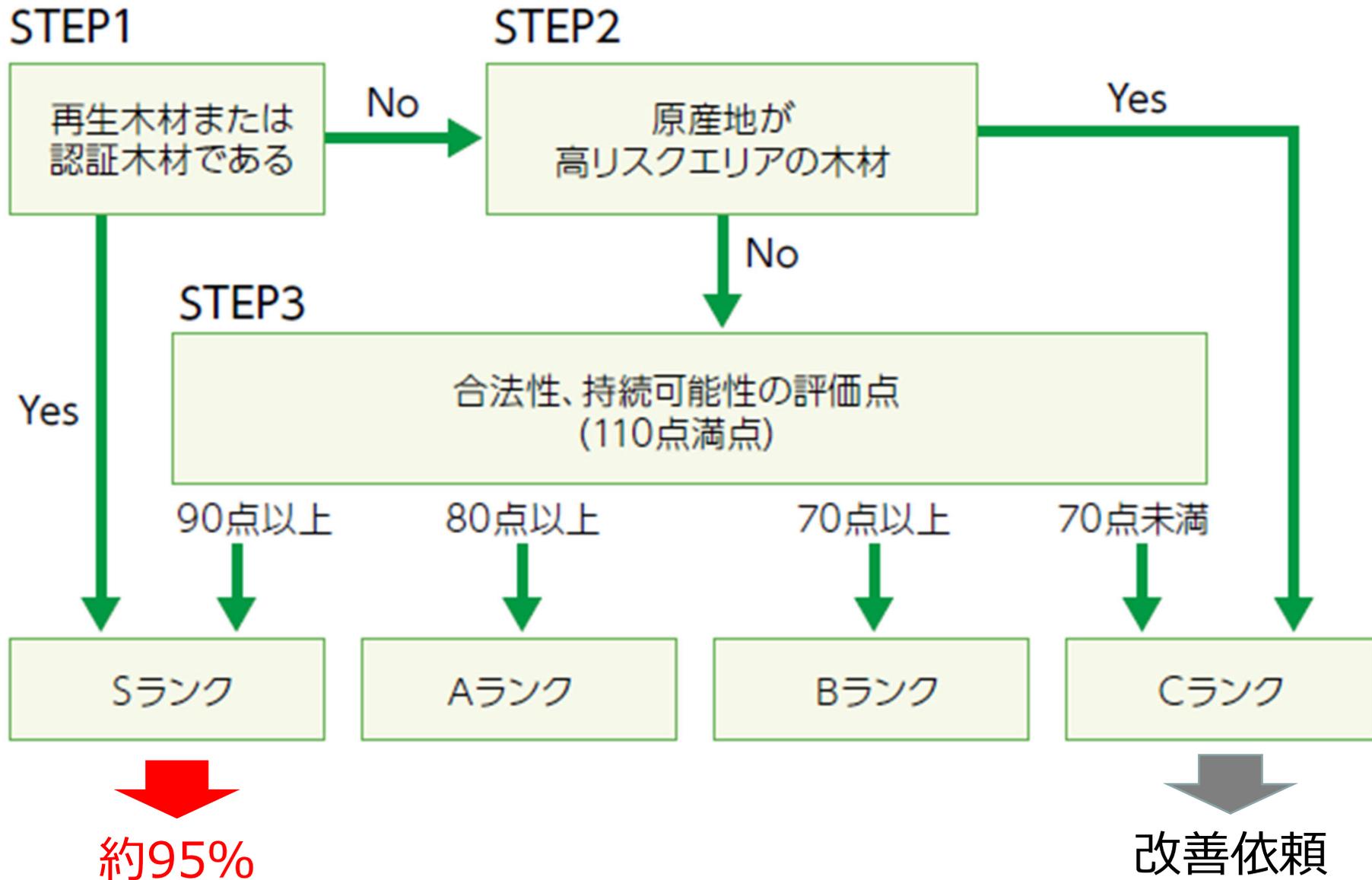
Action2



2030年までに、住宅・建築物における建材において木材調達にともなう森林破壊ゼロ、2055年には全事業において材料調達にともなう森林破壊ゼロを目指します。

■ 2019年度 部門別木材調達量

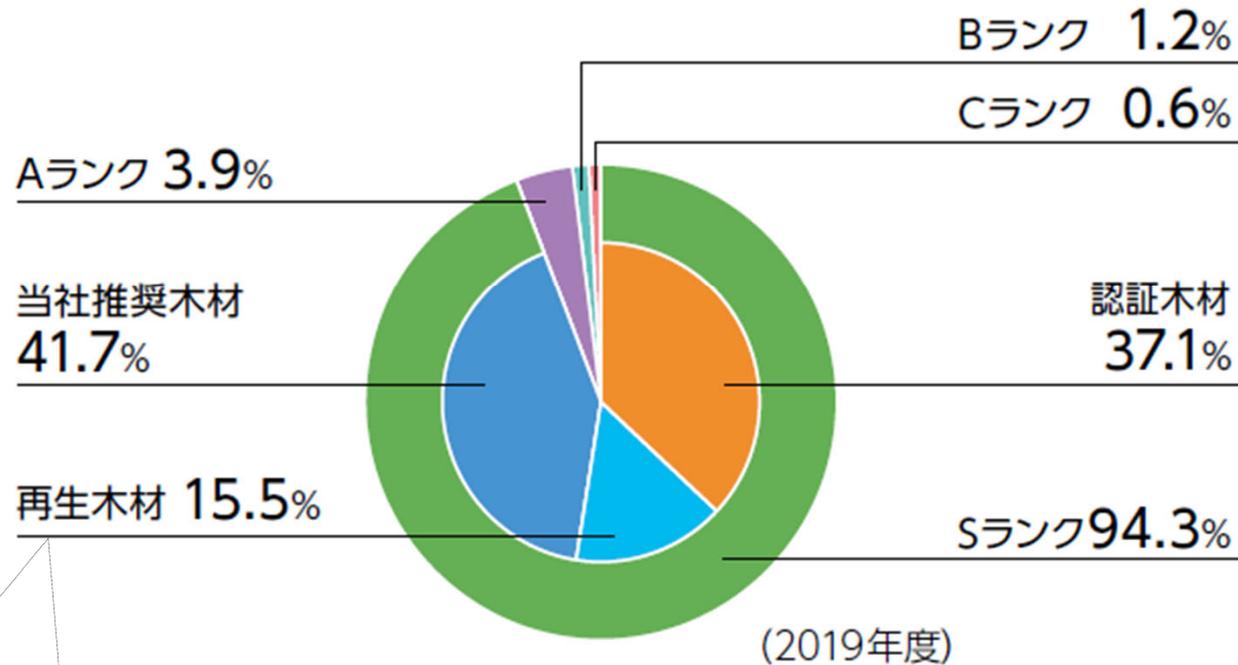




Sランク木材は森林破壊ゼロ？

自社が調達した木材がよければいいの？

■ 調達木材の評価結果

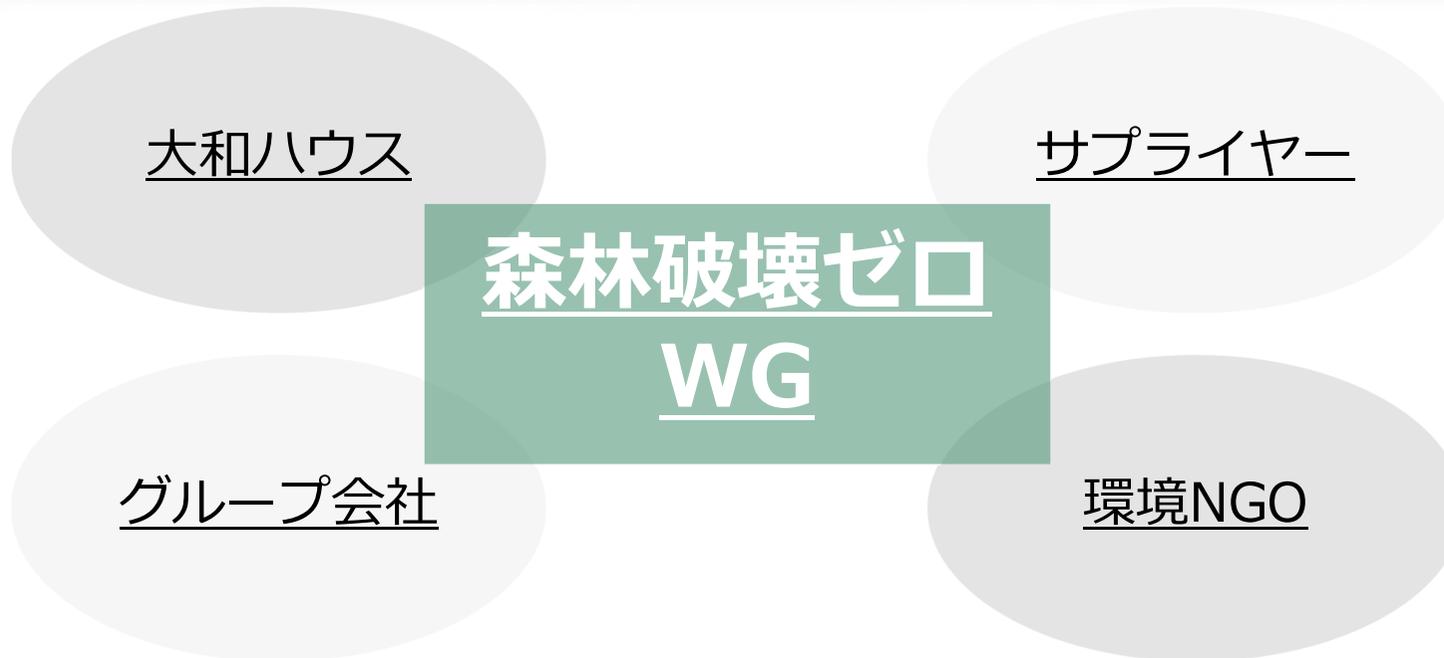


認証材であれば問題なし？

【対象木材】 構造材、下地面材、栈木、フロア材

再生材は全てリサイクル材？

他にもいっぱい木材使ってますよね？



- 森林破壊ゼロの定義
- 対象木材の範囲
- 調達先企業の評価
- 対象サプライヤーの範囲

● 森林破壊ゼロとはどういう状態か

【自然林】 皆伐による生物多様性の毀損がない

【植林】 適切な過程（アセスメントの実施）を経て植林された木材

● 対象範囲を拡大する

これまでの構造材、下地面材、栈木、フロア材に加えて

型枠合板、主要設備、主要建具、クロスを対象範囲に加える

● サプライチェーン全体で森林破壊ゼロを掲げる

サプライヤーに森林破壊ゼロの方針を掲げていただくよう要請し、同じ考えを持つ仲間を増やすことで強固なサプライチェーンを構築する。同様に原産国の労働・人権に関する方針の策定も要請する。

● 調達木材の評価は継続する

森林破壊ゼロに沿った評価基準に見直し、基準に則った木材かどうか、年1回の調達木材の評価は継続する。

2030年までに住宅・建築物における建材において
木材調達にともなう**森林破壊ゼロを達成**する

大和ハウスグループは、
環境長期ビジョン“Challenge ZERO 2055”で掲げる
森林破壊ゼロの達成に向けて・・・

- ✓ 森林破壊ゼロを掲げるサプライヤーから木材を購入します。
- ✓ 原産国における先住民への配慮、労働者の権利、安全に配慮した木材を取り扱うサプライヤーから購入します。
- ✓ トレーサビリティが確認できる木材を購入します。

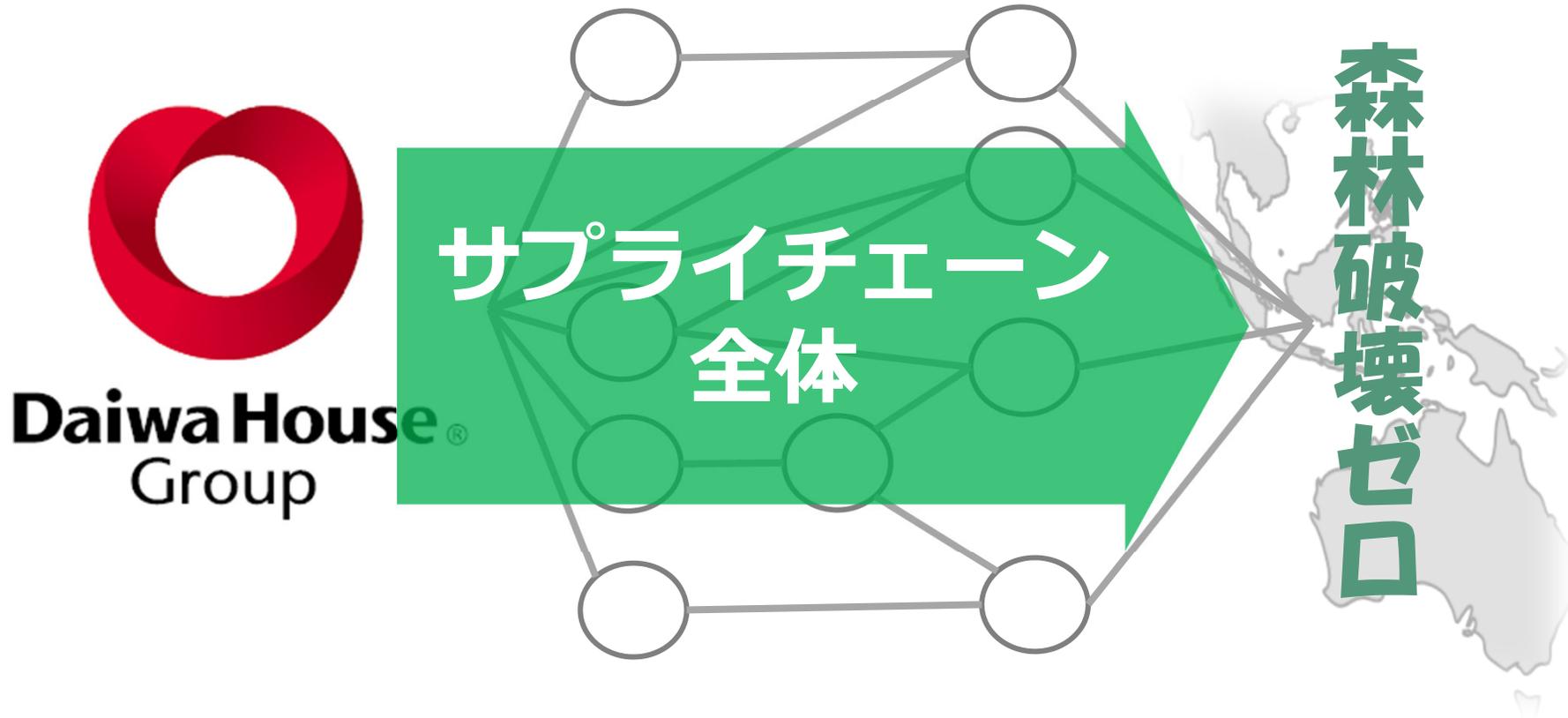
リリース準備中

※森林破壊ゼロの木材とは

- ① 自然林の皆伐により生物多様性が毀損されていない木材
- ② 高炭素蓄積地（HCS）を毀損しない方法で植林された木材
- ③ 100%リサイクル材

※対象となる木材関連製品

構造材、栈木、下地面材、型枠合板、フロア材、主要建具、主要設備、クロス



- ✓ サプライヤーと共に森林破壊ゼロの考えを共有する
- ✓ サプライヤーと共に森林破壊ゼロにコミットする
- ✓ サプライヤーと共に森林破壊ゼロに取り組む

ご清聴ありがとうございました

